



## 平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社

コード番号 4963 URL <https://www.seikopmc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 井内 秀樹 TEL 03-6202-7331

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	6,165	5.2	581	△4.9	589	△14.5	467	△14.2
29年12月期第1四半期	5,858	△1.5	611	22.9	688	38.4	545	17.1

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 390百万円 (△34.8%) 29年12月期第1四半期 599百万円 (43.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	15.43	—
29年12月期第1四半期	17.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	32,181	23,725	73.7
29年12月期	32,106	23,546	73.3

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 23,725百万円 29年12月期 23,546百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	6.00	—	7.00	13.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

30年12月期(予想) 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭、記念配当 1円00銭  
期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭、記念配当 1円00銭

### 3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,470	5.8	800	△18.9	870	△21.7	670	△25.9	22.10
通期	25,920	3.3	2,000	△9.9	2,130	△13.6	1,610	△19.5	53.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期 1 Q	30,743,604株	29年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	30年12月期 1 Q	422,097株	29年12月期	422,028株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期 1 Q	30,321,559株	29年12月期 1 Q	30,321,736株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が続くとともに個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。世界経済の不確実性の高まりや為替変動もあり、依然として先行きが不透明な状況となりました。

当社グループの主要販売先におきましては、製紙業界・印刷インキ業界の需要がともに前年を下回るなど、不透明な経営環境が続きました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,165百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

利益面では、原料価格の値上がりの影響などにより、営業利益は581百万円（前年同期比4.9%減）となりました。また、経常利益は持分法による投資利益の減少などにより589百万円（前年同期比14.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は467百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

## ・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第1四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は652万トンと前年同期比1.7%の減少となりました。需要が前年を下回る中、当社グループは、国内市場・中国市場へ差別化商品の売上増加に努めた結果、当事業の売上高は4,027百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

利益面では、原料価格の値上がりの影響などにより、セグメント利益は413百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

## ・印刷インキ用・記録材料用樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第1四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は8万トンと前年同期比3.2%の減少となりました。当社グループにおいては、オフセットインキ用樹脂の売上高が減少いたしました。フレキソ・グラビアインキ用樹脂、記録材料用樹脂の売上高がそれぞれ増加しました。その結果、当事業の売上高は1,283百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

利益面では、原料価格の値上がりの影響などにより、セグメント利益は99百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

## ・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出売上の減少により854百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント利益は143百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

## (流動資産)

商品及び製品の増加、短期貸付金の増加、現金及び預金の増加、及び受取手形及び売掛金の減少などにより流動資産は20,715百万円（前連結会計年度末比303百万円増）となりました。

## (固定資産)

有形固定資産の減少などにより固定資産は11,465百万円（前連結会計年度末比228百万円減）となりました。

## (流動負債)

賞与引当金の減少、支払手形及び買掛金の増加などにより流動負債は7,780百万円（前連結会計年度末比2百万円減）となりました。

## (固定負債)

退職給付に係る負債の減少により固定負債は675百万円（前連結会計年度末比100百万円減）となりました。

## (純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当などにより、純資産は23,725百万円（前連結会計年度末比178百万円増）となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は73.7%となりました。また、有利子負債残高830百万円を自己資本で除した倍率（D/Eレシオ）は0.03倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画どおりに推移しており、平成30年2月13日公表の業績予想に修正はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,429,504	1,615,828
受取手形及び売掛金	11,154,652	10,572,559
電子記録債権	631,457	736,427
商品及び製品	1,972,755	2,311,411
仕掛品	273,460	380,170
原材料及び貯蔵品	1,119,257	1,028,749
短期貸付金	3,267,313	3,467,702
その他	571,408	609,385
貸倒引当金	△7,645	△6,477
流動資産合計	20,412,165	20,715,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,412,133	2,367,211
機械装置及び運搬具(純額)	2,080,749	1,978,362
土地	4,472,316	4,472,316
その他(純額)	350,746	349,277
有形固定資産合計	9,315,945	9,167,167
無形固定資産	95,475	91,199
投資その他の資産		
投資有価証券	2,066,501	1,998,173
その他	263,838	256,611
貸倒引当金	△47,725	△47,878
投資その他の資産合計	2,282,614	2,206,906
固定資産合計	11,694,035	11,465,273
資産合計	32,106,200	32,181,031

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,109,458	4,234,187
短期借入金	830,000	830,000
未払法人税等	283,978	213,892
賞与引当金	550,853	332,806
その他の引当金	—	17,575
その他	2,009,326	2,152,214
流動負債合計	7,783,617	7,780,676
固定負債		
役員退職慰労引当金	15,925	15,925
退職給付に係る負債	405,071	314,272
資産除去債務	84,363	84,634
繰延税金負債	259,405	249,025
その他	11,304	11,478
固定負債合計	776,069	675,334
負債合計	8,559,686	8,456,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,566,178
利益剰余金	19,892,895	20,148,378
自己株式	△105,028	△105,106
株主資本合計	23,354,045	23,609,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	490,880	450,227
繰延ヘッジ損益	△509	△203
為替換算調整勘定	180,507	127,182
退職給付に係る調整累計額	△478,409	△461,636
その他の包括利益累計額合計	192,468	115,570
純資産合計	23,546,514	23,725,020
負債純資産合計	32,106,200	32,181,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	5,858,436	6,165,997
売上原価	4,147,753	4,486,531
売上総利益	1,710,683	1,679,466
販売費及び一般管理費	1,099,042	1,097,947
営業利益	611,641	581,519
営業外収益		
受取利息	2,937	1,137
受取配当金	3,315	3,632
仕入割引	4,445	3,952
持分法による投資利益	92,472	23,177
その他	9,983	13,239
営業外収益合計	113,153	45,139
営業外費用		
支払利息	1,004	728
売上割引	1,394	1,684
為替差損	32,236	33,762
その他	1,160	1,318
営業外費用合計	35,795	37,492
経常利益	688,999	589,166
特別利益		
固定資産売却益	—	2
会員権売却益	—	696
特別利益合計	—	698
特別損失		
固定資産売却損	—	5
固定資産除却損	726	143
特別損失合計	726	149
税金等調整前四半期純利益	688,273	589,715
法人税、住民税及び事業税	205,869	190,609
法人税等調整額	△62,611	△68,628
法人税等合計	143,258	121,981
四半期純利益	545,014	467,734
親会社株主に帰属する四半期純利益	545,014	467,734



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	545,014	467,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,201	△40,653
繰延ヘッジ損益	△1,808	306
為替換算調整勘定	△15,921	△61,275
退職給付に係る調整額	15,286	16,773
持分法適用会社に対する持分相当額	19,915	7,951
その他の包括利益合計	54,673	△76,898
四半期包括利益	599,688	390,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	599,688	390,835
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材 料用樹脂事 業	化成品事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,674,216	1,236,516	947,703	5,858,436	—	5,858,436
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12,878	133,026	2,186	148,090	△148,090	—
計	3,687,094	1,369,543	949,889	6,006,527	△148,090	5,858,436
セグメント利益	433,991	109,057	165,143	708,192	△96,551	611,641

(注) 1. 売上高の調整額△148,090千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△96,551千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材 料用樹脂事 業	化成品事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,027,738	1,283,585	854,673	6,165,997	—	6,165,997
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	74,369	153,472	2,901	230,742	△230,742	—
計	4,102,108	1,437,058	857,574	6,396,740	△230,742	6,165,997
セグメント利益	413,920	99,325	143,258	656,505	△74,986	581,519

(注) 1. 売上高の調整額△230,742千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△74,986千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。